

INFORMATION

No. 28012

平成28年9月20日

アレルギー検査報告書変更のお知らせ

この度、アレルギー検査報告書を変更致しますのでご案内申し上げます。

なお、アレルギー検査報告書表面・裏面の詳細につきましては、別紙をご参照ください。

【変更日】 平成28年9月26日（月）報告分より



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

旧) アレルギー検査成績報告書 (裏)

アレルゲンの除去と回避のための注意点

原因(症状を起こす物質=アレルゲン)を検査し、これらを除去・回避することが大切です。

室内塵(ホコリ)・ダニ

- ・部屋の風通しをよくし、まめに掃除をする。
- ・カーペットはなるべく使用しない。
- ・寝具はよく乾燥させ、掃除機をかける。
- ・ダニの通過できない高密度繊維のカバーやシーツは有効である。
- ・エアコンはまめに掃除する。
- ・動物は室内で飼わない。



花粉(花粉が飛散する時期)

- ・風の強い晴れた日(特に雨の翌日)は花粉の飛散量が多い。
- ・花粉が多いときには外出を控える。
- ・外出時はマスクとメガネを着用する。
- ・帰宅時は家に入る前に衣服についた花粉を落とし、うがいや洗顔をする。
- ・室内に空気清浄機を設置する。
- ・花粉の多い場所には行かない。



●代表的な花粉の飛散時期(地域や気温等により若干の変動があります)

種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ												
ヒノキ												
シラカンバ												
ハルガヤ												
カモガヤ												
オオアワガエリ												
ブタクサ												
ヨモギ												



動物(ペット)

- ・動物は飼わない。
- ・どうしても飼う場合には屋外で飼育する。
- ・まめにシャンプーをする。
- ・原因となる動物には近づかない。

旧



真菌(カビ)

- ・カビ胞子は、5~7月、9~11月にたくさん飛散する。
- ・浴室、台所、押入はまめに通気する。
- ・加湿器は使用しない。
- ・洗濯物は室内に干さない。
- ・壁などのカビはカビ取り剤を使用して除去する。



食物

- ・食物アレルギーは症状の有無により診断する。
- ・治療の原則は原因となる食物を含む食品をとらないこと。
- ・食物を制限するときは、必要以上の制限をしないように医師の指導を受ける。
- ・食物は健全な発育や成長に必要。栄養が不足しないように注意する。
- ・アナフィラキシーを起こすときは危険であるため正確に除去する。



監修: 元同愛記念病院 小児科 岩崎 栄作

特異的IgE (マルチアレルゲン)

分野	含まれるアレルゲン
イネ科	G1: ハルガヤ, G2: ギョウギシバ, G3: カモガヤ, G6: オオアワガエリ, G7: アシ
雑草	W1: ブタクサ, W6: ヨモギ, W7: フランスギク, W8: タンポポ(属), W12: アキノキリンソウ
食物	F1: 卵白, F2: 牛乳, F4: 小麦, F13: ビーナッツ, F14: 大豆
穀物	F4: 小麦, F8: トウモロコシ, F9: 米, F10: ゴマ, F11: ソバ
動物上皮	E1: ネコのフケ, E5: イヌのフケ, E6: モルモット上皮, E87: ラット, E88: マウス
カビ	M1: ペニシウム, M2: クラドスポリウム, M3: アスペルギルス, M5: カンジダ, M6: アレルナリア, M8: ヘルミットスポリウム

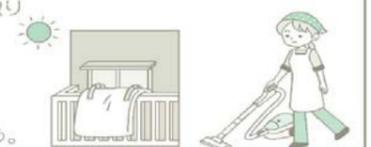
新) アレルギー検査成績報告書 (裏)

アレルゲンの除去と回避のための注意点

原因(症状を起こす物質=アレルゲン)を検査し、これらを除去・回避することが大切です。

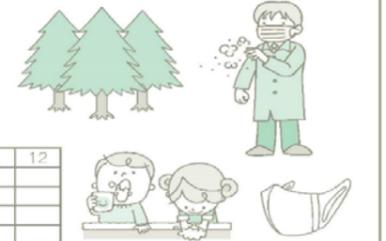
室内塵(ホコリ)・ダニ

1. 毎日こまめに掃除をしましょう。ホウキやハタキを使わずに、掃除機で吸い取り。そのあとかたくしぼった雑巾で拭きましょう。
2. 布団はたたいてほこりを落とし掃除機をかけて吸い取りましょう。また、できれば年に1回は丸洗いしましょう。
3. シーツやカバーは少なくとも1週間に1回は洗濯しましょう。
4. エアコンのフィルターは1週間に1回は掃除しましょう。
5. むいぐるみはできるだけ避け、無理な場合は1週間に1回は丸洗いしましょう。



花粉(花粉が飛散する時期)

1. 外出の時は必ずマスクを着用し、帰宅時には衣類についた花粉をはたき落としてから家に入るようにしましょう。
2. 花粉によって飛散する時期が異なります。
3. 外出後は、うがいや洗顔(眼や鼻)をしましょう。
4. 花粉の多い場所には近づかないようにしましょう。



花粉の飛散時期

種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ												
ヒノキ												
イネ科植物(カモガヤ等)												
秋の雑草(ブタクサ・ヨモギ等)												

動物(ペット)

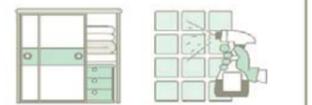
1. 原因になっているペットの飼育をやめましょう。どうしても飼う場合は屋外で飼育しましょう。また、ペットはまめにシャンプーしましょう。
2. 原因となる動物には近づかないようにしましょう。



新

真菌(カビ)

- ・カビは5~7月、9~11月に繁殖します。
- 1. 家の中に湿気がこもらないように換気をしましょう。
- 2. 浴室の壁などのカビはカビ取り剤を使用して除去しましょう。
- 3. 浴室、台所、押入はまめに通気しましょう。
- 4. 加湿器は使用しないようにしましょう。



食物

- ・食物アレルギーは小児、おもに乳幼児に多く、中には成人でも問題になることがあります。アレルギーを起こしやすい食品として、乳幼児期の卵、牛乳、小麦、ピーナッツ・ナッツ類、学童・成人の甲殻類(エビ、カニ)、ソバ、小麦、果物、があげられます。
- 1. 食物アレルギーでは、医師による正しい診断に基づいた食物除去の指導を受けましょう。
- 2. アレルギー症状がみられた食品形態、成分内容を伝えて原因検査を受けましょう。
- 3. 成長期の子どもは食物アレルギーでは、定期的な検査と食事指導を受けましょう。



アレルゲンコンポーネントの紹介

- ・アレルゲンコンポーネント検査をすることでより正確なアレルギー診断ができます。
- ・アレルゲンコンポーネントにはオボムコイド(卵白由来)、ω-5グリアジン(小麦由来)、Ara h2(ピーナッツ由来)、カゼイン等(牛乳由来)、Gly m 4(大豆由来:花粉症に伴う豆乳アレルギーの診断に有用)、Hes b 6.02(天然ゴム・ラテックス由来)などがあります。

監修: 国立病院機構福岡病院小児科 中村学園大学客員教授 柴田 瑠美子 先生

特異的IgEシングル、マルチアレルゲン(CAP)		
クラス	抗体価(UA/mL)	判定
0	0.35未満	陰性
1	0.35以上 0.70未満	疑陽性
2	0.70以上 3.5未満	陽性
3	3.5以上 17.5未満	
4	17.5以上 50未満	
5	50以上 100未満	
6	100以上	

MAST36		
クラス	ルミカウント(LC)	判定
0	0~1.39	陰性
1	1.40~2.77	疑陽性
2	2.78~13.4	陽性
3	13.5~58.0	
4	58.1~119	
5	120~159	
6	160~200	

※スクリーニング検査としてご利用ください